

YA・BOOKS

No.19 (2010.3)

～ 最近入った本の中から ～

◆ リメイク・シックスティーン

16歳をやり直しに来たの

豊島ミホ著 幻冬舎 2009.11 テコ913.6-トシ 1109795877

クラスメイトの孝子から、実は未来から高校生活をやり直しにきた、と告白される沙織。物語は孝子ではなく、沙織の視点で進みます。何をするにもなんとなく一歩引いた位置にいる沙織が、孝子に影響されて変わっていく姿がとても良い！著者がこれでしばらく休筆だなんて、とても残念！

◆ 午前零時のサンドリヨン

同級生は天才マジシャン

相沢沙呼著 東京創元社 2009.10 テコ913.6-アイ 1109768299

須川くんの気になってるクラスメイト・酉乃初(とりの・はつ)。学校では天然系で、教室でも一人で過ごすことが多い彼女が、ひとたびカードを手にとると凄腕マジシャンに！学校でのちょっとしたミステリーも、彼女にかかるととたんに解決してしまう。須川くんの恋の行方も気になる！第19回鮎川哲也賞受賞作。

◆ よろこびの歌 Una bella Madonna

希望の調べ

宮下奈都／著 実業之日本社 2009.10 テコ913.6-ミヤ 1109770386

有名ヴァイオリニストの母を持つ玲は、音楽の道に進むことに何の疑問も抱いていなかった。しかし！音大附属高校の受験に失敗してしまう。音楽への気持ちも失ってしまい、ひとり殻にこもって過ごす高校生活。そんなとき、校内の合唱コンクールで玲が指揮者に推されて・・・！とても優しい気持ちに満ちた作品です。

◆ クローバー

初恋！

中西翠著 講談社 2009.10 テコJ913-ナカ 1109777449

中学1年生の好葉(このは)の秘密は、四つ葉のクローバーを、学校図書室の誰も借りないような本にはさむこと。ある日、自分がはさんだ覚えのない本で、四つ葉のクローバーを発見！学校図書室で始まる、淡い初恋はもう止まらない！第13回日本児童文芸家協会創作コンクール優秀賞・文部科学大臣賞受賞作。

◆ 園芸少年

園芸って奥深い

魚住直子著 講談社 2009.8 テコJ913-ウオ 1109742630

入学式直前、ドミノ倒しにしてしまった自転車を起こす手伝いをしてくれたのは、一見ガラの悪そうな少年。お礼を言う間もなく立ち去った彼と再会したのは、入学した高校だった！ひょんなことからその彼と一緒に、部員のいない園芸部に入ることになってしまった！

◆ 扉守 潮ノ道の旅人

不思議で優しい

光原百合著 文藝春秋 2009.11 テコ913.6-ミツ 1109795385

舞台は、山と海に囲まれた古い港町・潮ノ道市。イメージは尾道だそうです。そこで繰り広げられる、不思議な出来事の数々。その不思議な出来事を解決するのは、物語のキーマンの持福寺の住職・了斎が招く、霊力をもった人々たち。優しく、ほんのりと心が温かくなるお話ばかり。

◆ プリンセス・アカデミー

人間として大切なもの

シャノン・ヘイル作 代田亜香子訳 小学館 2009.6 テコ J933-ヘイ 1109706723

ミリは、小さな村に住む 14 歳の女の子。ある日、王子のお妃を、ミリの住む村から選ぶ、と王様からのお使いが！誰がお妃に選ばれるのか？20 人のお妃教育が始まった。単なるおとぎ話ではなく、「学ぶ」ということの意味や、女性の生き方についても考えさせられる作品。2006 年ニューベリー賞オナー受賞作。

◆ とむらう女

死者をおくる仕事

ロレッタ・エルスワース著 代田亜香子訳 作品社 2009.11 テコ J933-エル 1109799606

母親を亡くしたイーヴィのもとに、父親の姉で「おとむらい師」をしているフローおばさんがやってくる。優しく接してくれるフローおばさんに、妹のメイはすぐに懐くが、母親を忘れたくないイーヴィはなかなか素直にはなれない。「おとむらい師」という仕事も気になるし…。

◆ 労働法はほくらの味方！（岩波ジュニア新書）

働く権利って？

笹山尚人／著 岩波書店 2009.2 テコ J366-サ 1109612037

労働法なんて関係ないって思ってる？そんなことはありません。アルバイトだって労働法で守られてるんですよ。高校二年生の真吾君がアルバイト先で体験した、「労働」についての疑問に、弁護士の尚平おじさんに解説してもらい、という形式でお話は進みます。読みやすくて分かり易い！

◆ こんな私が大嫌い！（よみちパン！セ）

自分がスキ？

中村 うさぎ／著 100%ORANGE／装画・挿画 理論社 2009.11 テコ J914-ナカ 1109792356

あなたにはあなたの魅力がある、自分を好きになりなさい、なんてキレイゴトは言わない。「自分嫌いのプロ」を自称する著者が、じゃあ、どうしたらいいの？に答えてくれる。自分のことが嫌いな人、読んだら少し楽になるかも？

◆ ミムス 宮廷道化師（Y.A.Books）

笑いこそが最後の武器

リリ・タール／作 木本 栄／訳 小峰書店 2009.12 テコ J943-タル 1109811667

何不自由なく暮らしていた王子が、ある日敵国の罠にはまって捕われてしまう。逃げ出そうにも、同じく捕らえられている父王に危害を加えるぞと脅され、身動きがとれない。しかも、敵国の王の思いつきで、王子は宮廷道化師の弟子とさせられてしまうが…。とても分厚い本だけど、続きが気になって止まらない！

◆ 三国志 ものがたり英雄叙事詩 上 赤壁の戦い

三国志の世界を感じる

古川 薫／著 ほるぷ出版 2009.10 テコ 913.6-フル 1109763864

物語の筋を細かく描ききっているわけではないのに、三国志の世界をまさに「感じる」ことができる一冊。難しい言い回しがほとんどなく、叙事詩なだけに、リズムにのってどんどん読める。今まで三国志を最後まで読みきったことのない人でも、きっと読めるのでは！？

続きものに注目！☆☆☆☆

まずは「ステフィとネッリの物語」（アニカ・トール／著 菱木晃子訳 新宿書房）シリーズ。「海の島」「睡蓮の池」に続いて、2009 年は「海の深み」（テコ 949.83-トル 1109659937）、「大海の光」（テコ 949.83-トル 1109730120）が出ました。ナチスから逃れてスウェーデンで暮らすステフィとネッリ。離れて暮らす両親を想いながらも目標に向かって進むステフィの姿に感動！

つぎに、「天山の巫女ソニン」（菅野 雪虫／作 講談社）の 5 巻「大地の翼」（テコ J913-スカ 1109706788）が出ました。巨山（こざん）、沙維（さい）、江南（かんなんむ）の 3 つの国の王子・王女たち、そしてソニンの運命は？完結の大団円。

最後に、小市民を目指す高校生・小鳩君が繰り広げる、謎解きもののシリーズ。タイトルにスイーツの名前が付いていて、第 1 作目はイチゴタルト、第 2 作目はトロピカルパフェときて、今度は「秋期限定栗きんとん事件 上・下」（テコ 913.6-ヨネ 1109632183, 1109632192）。連続放火事件を追う小鳩君だけど、栗きんとんはどう絡んでくる？

他にももっと紹介したいシリーズがたくさんあるんだけど…またの機会に！では！

